

視聴覚教育

NO. 423

発行日

28. 6. 29

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

コラボレーションで深める

岡崎の情報モラル教育 学習情報指導員 内田 雅之

情報教育推進委員会では、平成25年度より、学習情報、生徒指導、特別活動、道徳という四領域の視点から、情報モラル教育の在り方を検討し、様々な手立てを講じてきた。その一つとして「情報モラル授業モデル案」の作成が挙げられる。このモデル案に基づく全市的な取組により、どの学校、どの学級でも同様に、子供たちの情報モラルの育成に向けた授業実践を着実に進めることができた。しかし、多くの学校では、依然としてネットに関わるトラブル、特にSNSの利用に絡んだ問題が後を絶たない。

その背景にある要因として、内田洋行教育総合研究所は、SNSのグループ機能の影響を指摘している。SNSにおける「グループ」は、仲間以外の他者が入り込まない、閉鎖的な空間となる。最重視されるのは反応のよさであり、思いを伝えるための言葉は削ぎ落とされていく。こうして、言葉を尽くして気持ち丁寧に説明したり、言葉の端々から繊細な情意を読み取ったりする機会が失われてしまうというのだ。これは、情報モラルだけではなく、子供たち

これ知ってる!?

GC (Geometric Constructor)

数学的探究を支援すると同時に授業での使いやすさを追求した動的幾何ソフト。愛知教育大学数学研究室の飯島教授が開発した。啓林館が発行した数学の新しいデジタル教科書に、GCを使って図形を作成・操作できる機能が実装されている。

|| 視聴覚教育あれこれ || 学習指導要領改訂の動向

「中教審「論点整理」を読む」

21世紀は、「知識基盤社会」の時代である。さらに、グローバル化や情報化をはじめとした社会の加速度的な変化に、どう向き合い対応していくのかが問われる。将来の予測が困難な、複雑で変化の激しい社会の中で求められる力の育成が必要となる。そのような社会的背景や要請を踏まえて、改訂への議論が進められている。

● 育成すべき資質・能力

これからの社会を生きる子供たちに育成すべき資質・能力を次の三つの柱で整理している。

① 「何を知っているか、何ができるか」

(知識・技能)

② 「知っていること・できることをどう使うか」

(思考力・判断力・表現力)

③ 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)」

特に、次期改訂の視点では

③を重視しており、思考力・

判断力・表現力はもろんのこと、

学びに向かう力や人間性など

情意・態度等に関わるものを含めて、

いかに総合的に育んでいくかを

目指している。

● 情報活用能力の育成

さらなる情報化の進展が予想されるこれからの社会の動向を踏まえれば、情報や情報手段を主体的に選択し、活用していくために必要な情報活用能力の育成が一層求められている。



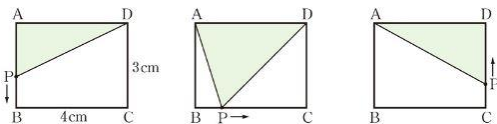
実践報告 II

タブレットPCで数学的思考力を育む授業

常磐中学校 加藤 崇夫

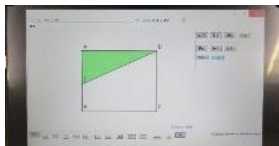
数学を学ぶ上で、関数が苦手という生徒は少なくない。そこで、数学的思考力を深める手だてとして、二年生の一次関数の単元でタブレットPCを活用し、変化する三角形の面積を視覚的に捉える授業を行った。

まず、四角形ABCD



の辺上を点Pが動くときにできる三角形ADPの面積がどう変化するかを考えさせた。しかし、どんな図になるかを具体的にイメージできない生徒が多かった。そこで、生徒にタブレットPC上でGC(※)という作図ツールを操作させ、三角形の面積の変化をシミュレーションさせた。生徒たちは「一秒後の点Pはこの位置だから、面積は2cm²、二秒後はこの位置だから面積は4cm²だな」と、点Pの移動によってできる三角形の面積の変化を視覚的に認識し、時間と面積の相関関係を式で表すことができた。

タブレットPCの利用により、生徒たちは面積が変化する様子を具体的に理解することができた。ICTの活用により「思考の可視化」を促す効果が確認できる。この利点を、今後の授業でも生かしていきたい。



(※)「これ知ってる!？」参照。

タブレットライ! ICT II

今回使用したソフト・機材 「岡崎市自作教材 ごみごみ探検隊」

四年生の社会科で、「ごみ」のしよ理とその利用」の学習をするときに役立つ教材が、岡崎市自作マルチメディア教材の「ごみごみ探検隊」だ。OKリンクの自作教材(一覧)から選択し、メニューから「家のごみ調べ」、「ごみステーション」、「ごみステーション」などのコンテンツを選んで気軽に学習できる。「ごみステーション」では、空き缶や燃えるごみを回収している動画があり、その様子を見るのが可能だ。授業の中でごみステーションの見学が難しい場合は、このソフトを活用することで回収の様子を知る活動が展開できる。また、ごみ収集している人のインタビュー動画もあり、困っていることや工夫していることなどの話を聞くこともできる。さらに、インタビュ用のワークシートが用意されており、授業での使い勝手がよい。



岡崎の自作教材は、地元岡崎市の学習素材を基に作成されている。身近な素材で学習することで、子供の追究意欲は大きく高まる。これが、自作教材の魅力であろう。ぜひ活用してみたいかがだろうか。



岡崎の自作教材は、地元岡崎市の学習素材を基に作成されている。身近な素材で学習することで、子供の追究意欲は大きく高まる。これが、自作教材の魅力であろう。ぜひ活用してみたいかがだろうか。

(形埜小学校 学習情報主任 山内 哲也)

ライブラリーだよ

●平成28年度「親子映画会」のお知らせ
〈上映日と会場〉

- 7月24日(日) 大平市民センター
- 7月31日(日) 中央市民センター
- 8月7日(日) 南部市民センター
- 8月21日(日) 六ツ美市民センター

〈上映時間〉

- 午前の部 午前10時〜11時30分
- 午後の部 午後1時30分〜3時

〈上映作品〉

- ムーミン (おじさんは手品師)
 - ハチ公物語
 - アラジンと魔法のランプ
 - イースターの卵騒動
 - ホシガリ姫の冒険
 - ちびまる子ちゃんの地震を考える
- ※一会場でのうち三作品を上映します。

●「子どもビデオ教室」と

「中学生メディアコミュニケーション塾」小・中学生を対象としたビデオ制作講習会を合計、年四回実施しています。一日のうちで、撮影、編集を講師の指導のもと体験します。ビデオ作品の制作を通して、子供たちのコミュニケーション能力や、表現力、創造力等の育成を目指しています。

